# 都立光丘 高等学校 令和６年度（１学年用）教科　　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　6 組

使用教科書：（ 新 現代の国語　（三省堂）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 領域 書 | 領域 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 単元１．わかり合うために<br>【知識及び技能】<br>［(1)ア］言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。<br>［(1)ク］常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［C(1)ア］文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>全文を通読する。<br>内容にそって本文を段落に分ける。<br>事例と主張の関係に着目し、本文の内容を把握する。<br>筆者の考えを捉える。<br>本文全体の内容を要約する。<br>・教材<br>鷲田清一先生「届く言葉、届かない言葉」<br>その他関連資料 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］<br>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。［(1)ク］<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［C(1)ア］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉の働きを理解したり、常用漢字を用いたり、文章の内容や構成を捉え、文章の要旨や要点を把握したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 単元１．わかり合うために<br>【知識及び技能】<br>［(1)ア］言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。<br>［(1)ク］常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［C(1)ア］文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的に文章を読み、実社会での問題点を把握したうえで解決方法を探る。 | ・指導事項<br>全文を通読する。<br>筆者の考えを捉える。<br>本文全体の内容を要約する。<br>各自の体験に照らして話す。<br>・教材<br>平田オリザ氏「わかりあえないことから」<br>その他関連資料 | ○ | | | 【知識・技能】<br>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］<br>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。［(1)ク］<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［C(1)ア］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・言葉の働きを理解したり、常用漢字を用いたり、文章の内容や構成を捉え、文章の要旨や要点を把握したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 単元２．確かな情報を伝えるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)イ］話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。<br>［(1)オ］文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［A(1)イ］自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>全文を通読し、内容を読み取る。<br>本文の内容を手がかりに、「情報と適切につきあう方法」を考え、ペアワークやグループワークで交流する。<br>書くテーマとそれに対する自分の考えを決め、必要な情報の検討と収集の準備をする。<br>資料を決め、原稿案をペアやグループで交流し構成や展開を検討する。<br>・教材<br>「情報はつくられる」<br>押井守氏「ひとまず、信じない」<br>作文<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | | 【知識・技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。［(1)イ］<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「話す聞く書く」ことにおいて、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。［A(1)イ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使ったり、自分の考えが的確に伝わるよう話の構成や展開を工夫したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 単元３．情報を生かすために<br>【知識及び技能】<br>［(1)イ］話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。<br>［(1)ス］実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［B(1)ア］目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>全文を通読し、キーワードについて理解する。<br>本文の内容を手がかりに、情報が行動に結びつかない理由について考える。<br>筆者の問いかけに対し、考えを提案する。<br>伝える相手や目的に沿って、情報を整理し、作り変える。<br>報告書にまとめる。<br>・教材<br>外山滋比古先生「情報の『メタ』化」<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等 | ○ | | | 【知識・技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。［(1)イ］<br>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)ス］<br>【思考・判断・表現】<br>・「話す聞く」ことにおいて、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。［B(1)ア］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使ったり、語感を磨き語彙を豊かにしたり、目的や意図に応じて実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味し、伝えたいことを明確にしたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 単元４．より よい読み手になるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)ウ］常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。<br>［(1)ｴ］実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［C(1)イ］目的に応じて、文や文章などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導<br>全文を通読し、事例を比較して述べる方法の長所と短所について考える。<br>筆者がどのような情報を示しながら主張を展開しているか、分析・評価する。<br>全文を通読し、内容に沿って段落に分ける。<br>各段落から、「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。<br>本文中の事例と筆者の主張の関係をまとめる。<br>・教材<br>山崎正和氏「水の東西」<br>佐藤信夫先生「コインは円形か」<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。［(1)ウ］<br>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)ｴ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。［C(1)イ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・常用漢字を文や文章の中で使ったり、語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしたり、目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開を評価したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | | 1 | | 5 |
| | 単元５．場に応じて伝えるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)イ］話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。<br>［(1)ｴ］実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。<br>［(2)ア］主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［A(1)ウ］話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。<br>［A(1)ｴ］論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>漫画によるクイズを解いて、答えと根拠をメモし、ペアやグループで交流する。<br>「情報がない、という情報」に相当する事例を考える。<br>二つの文章を読み比べ、書きぶりの違いに気づく。ペアやグループで交流し、各自の気づきを共有する。<br>プレゼンテーションのテーマを考え、発表資料を作る。<br>資料に合わせて、発表原稿を書き、プレゼンテーションを行う。<br>本文の要旨や要点を捉える。<br>・教材<br>岩井克人先生「マルジャーナの知恵」<br>プレゼンテーション<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等<br>プレゼンテーション資料を作成し、その資料を提示しながらプレゼンテーションを行う。 | ○ | | | 【知識・技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。［(1)イ］<br>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)ｴ］<br>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。［(2)ア］<br>【思考・判断・表現】<br>・「話す聞く」ことにおいて、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。［A(1)ウ］<br>・「話す聞く」ことにおいて、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。［A(1)ｴ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さや適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使ったり、語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしたり、情報と情報の関係を理解したり、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用い表現を工夫したり、論理の展開を予想しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | | | | 5 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 単元６．説得力を高めるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)オ］文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［B(1)イ］読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。<br>［B(1)ウ］自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>全文を通読し、本文の概要をとらえる。<br>本文の内容を整理し、理解する。<br>教材<br>読解関連資料<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | | 【知識・技能】<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「読むこと」において書き手の主旨を理解できるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えている。［B(1)イ］<br>・次項の「書くこと」において自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。［B(1)ウ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考え、文章の構成や展開を工夫したり、根拠の示し方や説明の仕方を考え、文章の種類や語句の表現を工夫したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 単元７．考えを共有していくために<br>【知識及び技能】<br>［(1)カ］比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。<br>［(2)ウ］推論の仕方を理解し使うこと。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［A(1)ｴ］論理の展開を予想しながら、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、読み取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。<br>［A(1)オ］論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現などを工夫すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>前項において文章を読み、理解したうえで、えがかれていない先を考える。<br>筆者が伝えたいことと伝え方について考える。<br>筆者の理論に沿ってつづきをまとめる。<br>それぞれの書いた文章を読み比べ、各自の伝え方について、グループで交流し、自分の考えをまとめる。<br>・教材<br>安田菜津紀氏「檻の中の“街”」<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | | 【知識・技能】<br>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。［(1)カ］<br>・推論の仕方を理解し使っている。［(2)ウ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「話す聞く」ことにおいて、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。［A(1)ｴ］<br>・「話す聞く」ことにおいて、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。［A(1)オ］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方や推論の仕方について理解し使ったり、論理の展開を予想しながら聞き、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたり、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 単元８．より よい書き手になるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)オ］文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。<br>［(2)ウ］推論の仕方を理解し使うこと。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［B(1)ア］目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>事例と主張の関係に注意しながら全文を通読する。<br>筆者の主張がどのように事実に基づいているかを整理・分析する。<br>課題を決め、複数の資料を読み、問題設定をする。<br>資料から読み取れることをメモし、自分の体験と照らし合わせ分析整理する。<br>課題に対する自分の立場を定め、文章にする。<br>「問題」「検証（事例や引用）」「結論（自分の考え）」の三つの内容に整理し、文章を構成する。<br>・教材<br>田中真知先生「ありのままの世界は見えない」<br>小論文<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等<br>小論文作成のための資料を収集する。 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］<br>・推論の仕方を理解し使っている。［(2)ウ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。［B(1)ア］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、推論の仕方を理解し使ったり、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して伝えたいことを明確にしたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | | | | 6 |
| | 単元８．より よい書き手になるために<br>【知識及び技能】<br>［(1)オ］文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。<br>［(2)ウ］推論の仕方を理解し使うこと。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>［B(1)ア］目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | ・指導事項<br>事例と主張の関係に注意しながら全文を通読する。<br>筆者の主張がどのように事実に基づいているかを整理・分析する。<br>課題を決め、複数の資料を読み、問題設定をする。<br>資料から読み取れることをメモし、自分の体験と照らし合わせ分析整理する。<br>課題に対する自分の立場を定め、文章にする。<br>「問題」「検証（事例や引用）」「結論（自分の考え）」の三つの内容に整理し、文章を構成する。<br>・教材<br>鈴木季夫先生「もののことば」<br>小論文<br>その他関連資料<br>・一人１台端末の活用　等<br>小論文作成のための資料を収集する。<br>文書作成ソフトを用い、小論文を書く。 | | | ○ | 【知識・技能】<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］<br>・推論の仕方を理解し使っている。［(2)ウ］<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。［B(1)ア］<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、推論の仕方を理解し使ったり、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して伝えたいことを明確にしたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。 | | | | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計<br>70 |